

世界遺産

現象 客が自由に選んだ2枚のカードが一致する。続けて、違う方法で客が自由に2枚のカードを選ぶが、再び一致する。

準備 世界遺産の書かれたカード20枚。同じ順番で2つのパッケージに分けておく。

パッケージA



写真10枚

パッケージB



解説10枚

10枚ずつのカードを、どちらも世界遺産の順番が同じようにします。順番が同じであれば、毎回決まった色の順にする必要はありませんが、一番上はピラミッド（裏からわかるキーカード）にしておきます。

演技

1. パッケージAを表向きにして両手でファンをします。このとき順番が変わらないように気をつけます。そのままそろえて表向きのまま上から5枚のカードをとり、「最初はちょっとだけ使います」と言って、テーブルの中央（右）に全体を裏向きにして置きます。これをパッケージaとします。残りの5枚のカードはすみに置いておきます。
2. 同様にパッケージBを表向きにして両手でファンをします。このとき順番が変わらないように気をつけます。そのままそろえて表向きのまま上から5枚のカードをとり、「こちらもちょうとだけ使います」と言って、テーブルの中央（左）に全体を裏向きにして置きます。これをパッケージbとします。残りの5枚のカードはすみに置いておきます。今、テーブルの上には自分から見て右側にパッケージa、左側にパッケージbがあります。

世界遺産

3. 「この2つを混ぜますね。」と言って、2つの裏向きのパッケージを重ね（どちらを上にしても構いません。）、数回カットします。お客にさせても構いませんが順番が変わらないように気を付けます。このパッケージを**パッケージC**とします。カットが終わったら**パッケージC**の全体をそろえて左手に**ディーリングポジション**で持ちます。
4. 「2つに分けます。」と言って、テーブルに**パッケージC**の上から1枚ずつ重ねて5枚置きます。これを**パッケージD**とします。左手に残った5枚は、**パッケージD**の左側に置きます。これを**パッケージE**とします。

今、**パッケージD**と**パッケージE**は上からの順番が逆さになった状態です。
5. 「今からお客様に自由に順番を変えていただきます。まずは4回やってみましょう。」と言って、以下のようにします。
 - ① 「どちらか好きな方を選んでください。」

と言い、お客が選んだパッケージのトップカード（1番上のカード）をそのパッケージのボトム（一番下）にまわします。このとき「1枚目」と言いながら行うと良いでしょう。
 - ② 続けて「次はどちらにしますか？」と聞き、「2枚目」と言いながら、お客が選んだパッケージのトップカードをボトムにまわします。
 - ③ これを4回（4枚）繰り返します。
6. 「自由に選びましたよね？ ということは今一番上にあるカードはどこの世界遺産かわかりませんが・・・」と言いながら、2つのパッケージのトップカードを両手でとり、表返してお客側に置き、一致していることを見せます。
7. 「同じ世界遺産が出てきました。もう1回やってみましょうか。1枚少なくなったので、今度は3枚選んでみましょう。」と言いながら、先ほどと同じように3回お客に自由にパッケージを選んでもらい、そのつどトップカードをボトムにまわします。そして両方のトップカードを表返して、先ほどの表になっているカードの上に**同じ種類になるように重ねます**。同じ種類というのは、写真のカードは写真のカードの上に、解説のカードは解説のカードの上に、ということです。
8. 「また、同じ世界遺産がでてきました。次は2回選びましょう。」と言って、同様の作業を行います。

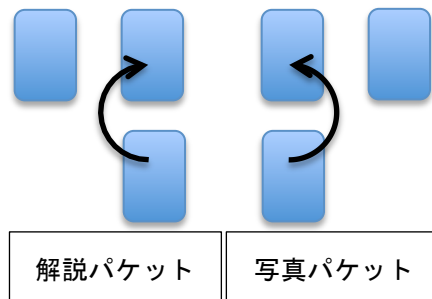
世界遺産

9. 「最後は1回だけです。」と言い、カードをトップからボトムに1枚まわし、表返して一致していることを見せます。テーブルの表向きの山に乗せて、裏向きのカードも表返してその山に乗せます。すべてのカードが一致したことを伝えます。
10. 「不思議ですね。やはり世界遺産だけに何かパワーがあるのでしょうか。」と言いながら、**写真のポケットと解説のポケットを、それぞれ全体を裏向きにしてテーブルに置きます。写真ポケットが自分から見て右側です。このときカードを落としたりずらしたりして順番が変わってしまわないように気をつけましょう。**続けて、使っていなかったポケットを同じ種類（写真と解説）のポケットの上にのせます。どちらのポケットもキーカードが一番上になっていますし、順番も同じ状態です。
11. 「今度はすべてのカードでやってみましょう。」と言いながら解説ポケットを取り上げカットします。3～4回くらいカットしますが、**最終的にはキーカードがトップ**にくるようにします。カットが終わったらテーブルに戻します。続けて、写真ポケットをカットしますが、**最終的にキーカードが下から2番目**になるようにします。カットしたら写真ポケットをそのまま裏向きにファンをして、お客に1枚選んでもらう状態を作ります。このとき**上半分くらいをファン**するようにします。
12. 「お好きなカードを1枚選んでください。」と言いますが、**上半分くらいから選んでもらうように**します。お客が選んだら次のようにします。
- ① 選んだカードをお客にとってもらい、お客と周りの人に覚えてもらいます。
 - ② このとき、お客が選んだカードより右側を右手で、左側を左手で分けて持ちます。
 - ③ 覚えてもらっているときに、何気なく左右の手を近づけ、左手にあるカードの上2枚を、右手にあるカードの下に移動させます。
 - ④ 「覚えたら戻してください。」と言いながら左手をお客に差し出し、一番上に返してもらいます。お客のカードは最初の位置よりも2枚下に返してもらったこととなります。
 - ⑤ 「このようにわかるようにしておきますね。」と言いながら、お客のカードだけを横向きにし、その上に右手で持っていたカードを重ね、テーブルにある解説ポケットの右側に置きます。

世界遺産

13. 「先ほど混ぜましたので、このカードが一致することは中々ないですよね。」
と言いながら、写真ポケットと解説ポケットをトップから1枚ずつ表返してお客側に重ねていきます。

14. お客のカード（横向き）になったら、「こちらに置いておきます。」と言って分けておきます。



15. 残りのカードも1枚ずつ表返していき、すべてのカードが一致していないことを確認してもらいます。

16. 「ではこちらのカードを見てみましょう。」と言って、分けたお客のカードと解説カードを表返し、一致していることを見せます。お客が驚いているときに以下のようにします。

- ① 表向きになっている解説ポケットを取り上げ、全体を裏向きにしてテーブルに置きます。
- ② 表向きになっている写真ポケットを取り上げ、表向きの状態で上2枚のカードをまとめて下にまわしてから、全体を裏向きにします。どちらもキーカードが一番上になっていればOKです。

17. 表向きになっている2枚のカードを両手で持ち、「このカードでおまじないをかけると・・・」と言いながら、裏向きになっているポケットの上で軽く振るような動作をします。

18. 両手に持っていたカードを表向きのままテーブルに置き、ポケットのトップから1枚ずつそれぞれ表返して、すべてのカードが一致してしまったことを見せて演技を終わります。

このマジックはギルブレスという人のアイデアを利用したマジックです。世界遺産についての知識を頭にいれて、会話をしながら練習できるといいでしょう。

演技中のポイントとして、カットという技法によって混ぜているように見せて、実は混ぜていない（順番が変わるだけ）ということをしています。ぜひマスターしてください。

∞◆~~~~∞~~~~∞~~~~∞~~~~∞~~~~∞~~~~∞~~~~∞~~~~♣∞

製作：マジシャンズ ムツアイ

http://www.geocities.jp/magicians_mutsuai/index.html

∞♥~~~~∞~~~~∞~~~~∞~~~~∞~~~~∞~~~~∞~~~~∞~~~~♠∞